

令和5年度 第1回 日進市環境まちづくり評価委員会 議事録

- 日 時 令和5年8月8日（火）
午後1時30分から3時まで
- 会 場 市役所本庁舎4階 第3会議室
- 出席委員 小林敬幸（会長）、増田理子（副会長）、石橋健一（委員）、石原貴代（委員）、鈴木秀和（委員）、寺田裕美（委員）
- 欠席委員 高野雅夫（委員）
- 事務局 杉田武史（生活安全部長）、近藤伸治（環境課長）、河村秀根（環境課課長補佐）
祖父江篤人（環境課環境政策係長）、宮田大（環境課環境政策係主査）
- 傍聴者 なし
- 内容
□諮問
□出席委員の確認 7名中6名の出席。日進市環境まちづくり評価委員会規則第3条第2項の成立要件を満たしていることを確認。

議題

令和5年度版日進市環境基本計画年次報告書（令和4年度実績）（案）について

会 長：それでは、議題「令和5年度版日進市環境基本計画年次報告書（令和4年度実績）（案）」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局より説明）

委 員：指標について、到達率を評価していただきうれしく思います。P56のL3で環境団体が20団体なのは少し寂しいなと思います。

事務局：環境団体の定義次第でカウント数が変わってしまう可能性があるものです。定義不明瞭のまま管理してしまっている指標の一つとなっています。

委 員：P5の到達率（基準値ベース）の算出方法はどのようですか。

事務局：P6の表の下に表記されているとおりの算出式となります。

委 員：到達率（基準値ベース）の計算式の設定理由を教えてください。

事務局：スタート（基準値）からゴール（長期目標）までどの程度進捗したかを表すため、このような計算をしております。

委 員：到達率（基準値ベース）の計算には、少し違和感を感じます。

委 員：たぶん違和感を感じられるのは、指標の単位が%となっているものの到達率の計算について、分母と分子の単位が%となっているからだと思います。

事務局：そのような問題はあると思いますが、達成度合いをわかりやすく表記する手段として、ご理解いただければと思います。また、達成率として基準値ベースと目標値ベースのどちらが相応しいかについては、それぞれの指標ごとにも異なってくるかと思われます。

委員：到達率の欄はあくまで数値を記載し、その下に「達成」と表記すればよいのではないのでしょうか。

事務局：ご指摘を踏まえ修正します。

委員：到達率は、少数第一位まで記載しなくてもよいと思います。

事務局：ご指摘を踏まえ修正します。

委員：細かいところの話とはなりましたが、市民に分かりやすい表現としていただければと思います。

会長：達成度の表記について、基準値ベースとするか目標値ベースとするか両方併記とするかについてはどうでしょうか。

委員：市民目線で言えば、わかりやすく一つのみで良いのではないのでしょうか。

委員：「0%」「未達成」の違いも分かりにくいので、数値で統一するなど分かりやすくすればよいと思います。

委員：分かりやすくどちらか一方の達成度を用いるとするなら、より達成率の高い目標値ベースを用いればよいと思います。

委員：P4について、指標の設定について不本意であったと思われませんが、策定当時の思いもあったことでしょうか。もう少し表現を工夫し、社会的変化があったから程度に抑えてはどうでしょうか。

事務局：ご指摘踏まえ修正します。

委員：第1次計画を読むと環境の定義は何かについて疑問を持ちました。本委員会で取り上げることではないかとは思いますが、防災・交通安全に関することなども次回の計画に入ると良いなと思いました。

事務局：環境の範囲については、計画ごとに異なってきます。第1次計画において扱う環境の範囲より第2次計画において扱う予定の環境の範囲のほうが狭くなる予定です。しかしながら、例えば廃棄物の適正処理が災害廃棄物の抑制に繋がるなど、廃棄物対策が災害対策に繋がる施策があります。このように分野横断し、それぞれが統合的に向上することを目指す取組は、計画に盛り込んでいく予定です。

委員：BODを表すグラフなどは、縦軸が逆の方が良かったり、グラフの作り方については、少し見直せる範囲で見直してもらえればと思います。

事務局：検討いたします。

委員：些末なことですが、進行管理指標のR2の左側とR4の右側の縦線は太線の方が見やすいと思います。

委員：やわらか版にも到達率の表記をした方が良いのではないのでしょうか。

事務局：やわらか版でも表記していくよう修正します。

委員：やわらか版のP2に表記されていることは、通常版でも表現されていけばよいと思います。また、通常版のP2に「12分野」と記載がありますが、「12分野」が何なのかについての説明も加えてもらえればと思います。

事務局：ご指摘を踏まえ修正します。

委員：やわらか版がどれくらいの人に見てもらえるのかと誰がレイアウトを作成しているのかを知りたいです。

事務局：HPの閲覧数は把握していませんが、やわらか版が見やすいという意見をいただいた

ことはあります。レイアウトについては、環境課職員が作成しております。

委員：レイアウトについては、少しお金をかけてつくってもいいのではないかと思いました。

事務局：第1次計画期間の最後の方で年次報告書のレイアウトを大きく変更することは考えていないですが、第2次計画における年次報告書では工夫を凝らしてみたいと思います。

会長：それでは、議題について終了します。その他事務局からありますでしょうか。

事務局：本年次報告書は、本日の意見を踏まえて修正した後、9月にパブリックコメントを行い、次回第2回委員会でご報告いたします。第2回委員会を経て年次報告書を公表してまいります。

事務局：第2次環境基本計画について、報告をいたします。次期計画は、対象とする環境の範囲は、国・県の定めている環境基本計画に倣い、脱炭素・資源循環・自然共生・安全確保の4本柱としていく予定です。また、計画期間は、本市の総合計画にあわせて2030年度までのものとしてまいります。報告は以上です。

会長：皆様のご協力により、議事を滞りなく進めることができました。以上をもちまして、第1回日進市環境まちづくり評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午後3時)